

津山中央病院広報誌 「スマイル」

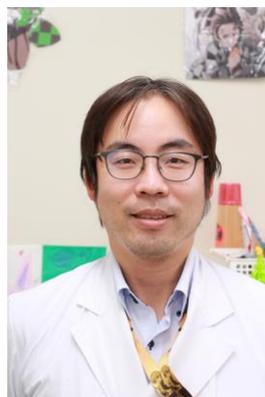
# Smile 2022 01

ご自由におとりください



特集

チームワークで  
こどもの健康をささえる



## 津山中央病院の役割

私ども「津山中央病院」は地域の中核病院として「高度医療の提供・急性期疾患の対応・充実した救急医療の提供」を果たす役割を担っております。この3つの使命は、地域の皆様のご要望とも言うことができ、当院はこれを実現すべく、日夜、研鑽に励んでおります。

また「地域医療支援病院」の認定を受け、緊急対応や高度な精密検査が必要な患者さんなど、地域の医療機関からの紹介があれば迅速に対応できる体制を整えています。

当院の近隣エリアには、回復期リハビリテーション病院やかかりつけ医として日常的な診療や健康管理を行う診療所など、それぞれの特長を活かした医療機関があります。地域内での機能分化を進め、適切な場所で患者さんに最良の医療を受けていただけるよう、地域の医療機関との密な連携に取り組んでいます。



津山中央病院

緊急対応や高度な精密検査・治療が必要な場合は当院へ



病状が安定したらかかりつけ医へ



かかりつけ医

## かかりつけ医をもちましょう

かかりつけ医とは、日常の健康管理を行う近所のお医者さんです。あなたに気になる症状があればすぐに相談でき、万が一、専門的な検査・治療が必要となれば、当院を紹介してもらうことができます。

## 新年明けましておめでとうございます



津山中央病院  
病院長

林 同輔

この2年間は新型コロナウイルスに振り回されてきました。ワクチン接種の普及、治療薬の開発等、ようやく明るい兆しが見えてきました。当院は岡山県で3カ所しかない第2種感染症指定医療機関であり、早くから県北のコロナ患者さんの診療のため、活動を行ってまいりましたが、地域の医療機関の協力もあり、何とかこれまでの波を乗り越えることが出来ました。また、この間地域の皆様方から多数の暖かいご支援やメッセージを頂きましたことに厚く御礼申し上げます。また、当院が現在の地に新築移転してから23年目を迎えます。これまで健診センター・がん陽子線治療センター・新病棟・新手術室等、様々な施設整備を行ってきました。コロナ対応だけでなく、当院の本来の使命である「お断りしない救急」と「最先端の医療の提供」のための体制がますます充実したと考えております。今後「県北医療の最後の砦」としての役割を果たすべく努力してまいりますので、本年も皆様方のご支援を宜しくお願いいたします。

## 特集

チームワークで  
こどもの健康を  
ささえる

### 梶 俊策

小児科主任部長  
周産期副センター長

津山中央病院は東北の地域小児科センター、地域周産期センターとして24時間体制で小児科診療・新生児診療を行っています。夜間の救急外来診療には近隣の小児科医・家庭医の先生方の協力もあり地域で支えていただいております。林 明日香 公認心理師による発達検査やカウンセリング、高橋 量大 小児理学療法士・藤原 裕登 作業療法士による療育も行い、こどもの全身を総合的に診療する一方で、各分野・臓器の疾患毎に専門的な診療も必要であり、常勤医が専門とする消化器・肝臓、内分泌、腎臓、リウマチ、感染症の分野では、肝生検、腎生検、関節エコー、負荷試験などの検査を行っています。また小児循環器、神経、血液などの分野は大学病院から専門医に定期的に来ていただいております。県北においても幅広い分野の専門的小児診療をうけることが可能な体制をとっています。これにより複雑心奇形や小児癌、難治性てんかんなど高度な診療が必要なお子さんは大学病院での治療へ円滑に移行できています。

## 生物学的製剤

近年最も革新を遂げている治療の一つが生物学的製剤による治療です。いままでは免疫療法の主体は副腎皮質ステロイドホルモンでしたが、長期投与による副作用に苦しんだり、効果が乏しい小児リウマチ患児では関節拘縮に至る例もありました。生物学的製剤は新しい作用機序で直接、暴走しているサイトカインなどの免疫システムに働き、めざましい治療効果を見せています。特にリウマチ・膠原病・腎臓病の分野では小児適応のある多くの生物学的製剤が導入されています。当科ではこの分野を専門とする北本 晃一 医師があいち小児保健医療総合センター感染免疫科と鳥取大学付属病院で小児リウマチ・膠原病、腎臓病診療の研究と経験を積んだ後、昨年4月より部長として着任しました。

化学療法センターの協力を得て、トシリズマブの外来点滴加療や、アダリムマブ、ベリムマブの在宅療法の導入などを開始しています。

また内分泌の分野でも杉本 守治 医師により低リン血症性くる病に対しプロスマブ投与を、血液疾患の分野でも血友病Aに対し奥野 啓介 医師によりエミシズマブの投与を開始しています。

血友病では第8因子製剤を週に二〜三回の静脈注射することが必要でしたが、第8因子の代わりに第9―第10因子を連結させる作用をもつエミシズマブにより、二週に一回の皮下注射で、より安定した凝固能を維持できるようになっています。

## 感染症対策 忘れずに

感染症の分野をみますと、5〜11歳の新型コロナウイルスが始まるようになっていきます。小児では新型コロナウイルスは成人に比べ感染しにくく、軽症が多いですが、基礎疾患のある児では重症化例がみられています。現在我が国でも広まりつつあるオミクロン株は海外においては、小児でも感染が多いことが指摘されており、今後我が国でもワクチン接種を受けていない小児の感染者が増加し、そのなかから少ないながら重症化例がみられることが予測されます。当科には基礎疾患のあるかかりつけの児が多いため、小児へのワクチン接種を積極的にすすめていく方針です。

一方で新型コロナウイルスに対するマスクや手洗い、3密回避などの予防策によって、インフルエンザやRSウイルス感染症が2020・2021年冬期には流行しませんでした。しかし、いつもあった流行がないと、免疫の無い人（感受性者）が増えてしまいます。

乳幼児では2021年夏にRSウイルスが大流行し、例年の冬以上の感染者ができました。また手足口病も秋になって流行しており、感受性者の蓄積により季節外れの大流行がもたらされているように思われます。

引き続き日常の感染症対策に加え、ワクチンのある感染症は積極的にワクチン接種をうけ予防していくことが今まで以上に大切になっています。

薬剤名	主な適応疾患(全てではなく小児の主なもののみ記載)
トシリズマブ	若年性突発性関節炎、高安動脈炎
アダリムマブ	多関節に活動性を有する若年性突発性関節炎
ベリムマブ	既存治療で効果不十分な全身性エリテマトーデス
リツキシマブ	難治性ネフローゼ症候群
プロスマブ	FGF23 関連低リン血症性くる病・骨軟化症
インフリキシマブ	関節リウマチ、炎症性腸疾患、川崎病



医師  
梶 俊策

医師  
杉本 守治

医師  
小野 将太

医師  
北本 晃一

公認心理師  
林 明日香

理学療法士  
高橋 量大

作業療法士  
藤原 裕登

# 病院の手指消毒剤を変更しました

今回手指消毒剤を液体タイプからジェルタイプに変更しました。特徴としては①乾きやすい、②一回に必要な量が十分出る。

①については、医療従事者は手袋をつけて処置を行いますが、早く乾くため手袋を着けるまでの時間が少なくてすみます。

②については、以前のスプレータイプのものだとポンプをちよつとしか押さない人がいて、不十分な量しか出ていない場合が見受けられたのですが、ジェルにすることでそれを回避できます。

コロナ禍で当たり前となったアルコールでの手指消毒ですが、病院をご利用される方に使いやすいように今後も必要に応じて見直しをしてまいります。

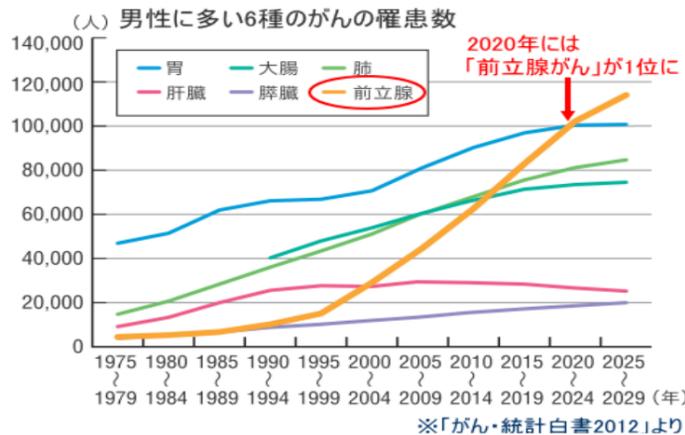


薬剤師 春木 祐人



# 前立腺がん検診 (PSA 検査) の重要性

前立腺がんは、中高年男性に多くみられるがんで、近年の高齢化、食生活の欧米化等により日本人の患者数は増えていきます。PSAとは、前立腺で特異的に作られるたんぱく質の一種で、健康な人の血液中にも存在します。しかし、前立腺がんになると血液中に流出するPSAが増加するため早期発見のための検査として用いることができます。



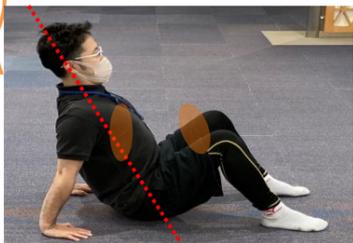
臨床検査技師 立石 智士

特に50歳を過ぎた方は前立腺がんに関心を持ち、定期的にPSA検査を受けることが前立腺がん対策の第一歩として大切です。

津山中央健康管理センターでは一般的な血液検査とあわせて実施できます

## ピラティスで首・肩周りの筋バランスを整え 猫背姿勢を改善しよう！

胸をはり あごを引く



頭・肩 お尻が一直線



※意識する筋肉

短くなった首の後ろ、胸、腕の筋肉が伸び、肩甲骨周りや首・肩周りの筋バランスが整います。お腹も意識すると猫背からくるポッコリお腹も改善が期待できます。

または正しい方法かどうか分からないという方はお気軽にカルヴァータまでお越しください。

カルヴァータ 理学療法士 中川 昌幸



管理栄養士 池上 拓磨

さば缶の豆乳鍋 塩分控えめで 身体が温まる

サバはDHAやEPAが含まれており、カルシウム、ビタミンDを摂取できます。豆乳は、良質なタンパク源であり、骨粗鬆症予防に役立ちます。酒粕は、腸内細菌を増やす作用や整腸作用があるオリゴ糖や食物繊維と似た働きをするレジスタンスプロテインを含んでおり、LDLコレステロール低下が期待できます。



- 【材料】(3人分)
- さば缶(水煮一缶)
  - 絹ごし豆腐 150g
  - 万能ねぎ 10g
  - おろししょうが 6g
  - 片栗粉 30g
  - 白菜 240g
  - 水菜 20g
  - しめじ 80g
  - にんじん 60g
  - えのき 60g
- ★調整豆乳約4カップ
- 白みそ 33g  
酒粕 24g
- 【作り方】
- さば缶の汁は捨て、さばの身をよくほぐす。絹ごし豆腐と万能ねぎ、おろししょうが、片栗粉を混ぜ合わせ団子状に丸める。にんじんは皮をむき、ピーラーでスライスする。白菜、水菜、しめじ、えのきを食べやすい大きさに切る。
- 鍋に★を混ぜ合わせ、火にかける。用意した食材を鍋に入れて、具材に火が通ったら完成。

## ドリンク一杯無料券

店内でお食事を注文の方に好きなソフトドリンクを1杯プレゼント1枚で1グループ様ご利用できます。

有効期限：2022年3月31日迄



津山中央病院 2階エスカレーターすぐ



お問い合わせはこちら 0868-21-8181





私たち津山慈風会は、  
地域の皆さんにやさしく寄り添います

一般財団法人津山慈風会

# 津山中央病院

〒708-0841 津山市川崎1756  
TEL.0868-21-8111 (代表) FAX.0868-21-8200  
<http://www.tch.or.jp/>

